



高岡市民体育大会を終えて

教頭 原田 尚計

5月26日～28日に高岡市民体育大会が行われ、後期課程の運動部の生徒は、各競技で頑張ってくれました。男子ソフトテニス部は、団体3位、個人1位、バドミントン部は、女子ダブルス3位、男子シングルス、女子シングルのそれぞれ1名がベスト8、柔道女子個人1位とすばらしい成果をあげてくれました。

部活動は、中学校生活の大きなウエイトを占めています。私は、中学校の頃、部活動に明け暮れた3年間でした。国吉中学校に入学し、ソフトテニス部に入部しました。その頃のソフトテニス部は、試合で1回戦も勝てない部でした。しかし、5歳年上の兄が中学生の時、県で団体優勝し、北信越大会に出場していたので、自分も北信越大会に出場したいという気持ちで入部しました。ところが、入部後の練習は、テニスコート1面で部員も多く、明けても暮れてもランニングとボール拾いの毎日で、ラケットでボールを打たせてもらえませんでした。夏休みから、ようやくコートでボールを打たせてもらえるようになり、それからは、とても楽しくて仕方ありませんでした。

中学2年生になると、いよいよ自分たちが中心となってやっていかなければならないのですが、何を練習してよいのかも分からず、試合に出ても勝てない日が続きました。その頃、ソフトテニスを教えてくれる先生、コーチがいなかったのが、様々な本を見て、自分たちで練習方法を考えました。とにかく試合で勝ちたいという一心で、朝、放課後、休日と必死に練習に励みました。

そして、中学3年生最後の地区大会。これで負ければ最後となる大会で、1回戦、2回戦と勝ち進み、3位になり、県選手権大会の出場権を得ることができたのです。学校では、1回戦を勝つかどうかと思われていた部だったので、次の日は、学校中大騒ぎでした。それからの練習は、今まで以上にみんなの気持ちも高まり、北信越大会出場を目標に練習しました。県選手権大会では、次、勝てば北信越大会出場という試合で残念ながら負けてしまいました。悔しい思いもありましたが、全力を尽くしたので、満足感でいっぱいでした。

そして、教員になり、今度は教える立場で、長年ソフトテニス部の顧問を続けてきて、勝つために何が必要なのかをたくさん学ぶことができました。市、地区、県で優勝し、北信越大会、全国大会に出場できるまでに生徒が頑張ってくれた時は、本当にうれしかったです。

6月には、高岡地区大会が行われます。9年生にとっては、全国大会につながる最後の大会となります。国吉義務教育学校の生徒としてのプライド（誇り）をもって、悔いの残らないように全力を尽くして競技してください。応援しています。

